

特集 地域で羽ばたく中小企業診断士5

第1章

地域の魅力を引き出す 中小企業診断士

「地域で羽ばたく中小企業診断士」執筆チーム



1. 中小企業を取り巻く課題

近年、世界は「不確実性の時代」といわれており、中小企業は予測のできない変化に対応し続けることが求められている。

2024年1月1日午後、石川県の能登半島を震源とした大規模な地震が発生した。その規模の大きさと被害の甚大さに、日本全土が衝撃に包まれた。改めて、突然起こる大災害の怖さや、緊急事態への対応の難しさを痛感させられることとなった。昨今、有事の際でも事業が止まらないよう、BCP（事業継続計画）策定の重要性がうたわれているが、より一層その意識が高まったのではないだろうか。

災害に対するBCPだけではない。不確実性が高まる現代において、中小企業が留意すべき課題は数多くある。単に事業において利益を上げるだけでなく、カーボンニュートラルの実現に向けた取組みなどを通じ、社会的責任を果たすことも求められている。

また、コロナ禍の影響は避けては通れない論点だろう。飲食・宿泊といったサービス業をはじめ、各業界が大きな影響を受けた。

2. 中小企業診断士が果たす役割

とはいえ、コロナ禍がもたらした社会変化はマイナス面だけでなく、プラスの面も多い。DX化への意識が高まったことや、オンライ

ンを活用したビジネスの展開など、時代のニーズに合わせた変化への対応が促進された効果も見逃せない。

中小企業にとっても、これら環境の変化を機会ととらえ、商品・サービスの優位性を築くことが重要である。特に地域の企業においては、その地域の魅力が詰まった、地域ならではの資源を活用することが求められる。

地域の魅力を引き出し、時代の変化に対応していくためにも、中小企業診断士の助言への期待は大きいといえるだろう。

3. 本特集の概要

本特集では、全国の各地域で活動する中小企業診断士を4名紹介する。

各章において、福島県、長野県、山口県、長崎県でそれぞれ活動している中小企業診断士に取材を行い、話を伺った。

大都市圏ではなく、地域で活動することを選んだ理由や歩みは皆それぞれ異なる。ただ、共通して言えるのは、地域を愛し、地域の魅力を生かそうとしていることだ。

ひとくくりに地域と言っても、観光資源が豊富な地域や、農業が盛んな地域など、その特徴は多様であり、課題も異なる。

本特集で登場する中小企業診断士は、自身の持つ強み・専門性を生かし、地域の活性化に貢献している。それぞれの地域で羽ばたく、中小企業診断士の姿を皆様にお伝えする。